

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
南区ヘルスケア推進事業		南保健福祉総合センター			
事業目的	事業内容	活動指標	H31	R2	R3
<p>産学官連携により南区民のヘルスケアと介護予防を充実させて健康長寿の推進につなげ、区民が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられるようにする。 また、区民が抱える課題が多様化・複雑化する中で、高齢者、障害者、子ども・子育て世帯、生活困窮者などの属性を越え、関係機関が連携してチームとして支援する体制を構築する。</p>	<p>(1) 現行のヘルスケア及び介護予防事業の実施に加え、事業見直しや新規事業の実施に取り組む「南区健康長寿推進プロジェクト」を立ち上げる。 (2) 南区民の保健福祉分野における複合的な問題に対応するため、南区役所内の保健福祉関係機関が連携しチームとして支援を行う「南区保健福祉総合相談体制」を構築する。</p>	<p>「南区健康長寿推進プロジェクト」の立ち上げ</p> <p>「南区保健福祉総合相談体制」の構築</p>	-	-	<p>「南区健康長寿推進プロジェクト」の立ち上げ</p> <p>「南区保健福祉総合相談体制」の構築</p>
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<p>◎ 誰一人取り残さない、個に寄り添った「最大多様・最大幸福」のサービスを提供し、南区民が個々のウェルビーイングを実現できるよう、南区役所と関係部局、関係機関、企業、大学等との連携を強化し、効果的な取組を推進することについて妥当性がある。</p>	<p>◎ 南区役所と関係部局、関係機関、企業、大学等が連携して取り組んでいる。</p>	<p>○ 啓発活動やイベントの実施などにより、南区民の課題意識や関心を高めている。</p>	<p>○</p>	<p>多機関で連携することで、役割分担ができたり、啓発活動やイベントで接点を持てる南区民の範囲が広がるなど、効率性の向上が見込まれる。</p>	
⑤自立発展性	総合評価				
<p>○ ヘルスケアや介護予防の取組は南区民自らが関心を持ち、意識的に取り組む必要があるため、課題意識や関心を高め、事業などへの参加や受診を促す工夫を重ねている。</p>	<p>○</p>	<p>「南区健康長寿推進プロジェクト」の立ち上げや「南区保健福祉総合相談体制」を構築し、関係機関で取組を行う体制を構築できた。</p>			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 ◎ 継続 見直し ○ 廃止</p>	<p>(1) 令和4年度は「南区健康長寿推進プロジェクト」の先行事業を実施し、令和5年度に本格実施を行う。 (2) 「南区保健福祉総合相談体制」を運用し、南区役所内保健福祉関係機関で連携して複合課題を有する区民の支援を行う。</p>				